

# 交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

## もっと強くなりたいです



ドイツのハレ市で十一月六日・七日に開催された「第十二回ケーンツヒ杯フェンシング国際大会」に出場。男子十三歳以下フルールの部で大柄な年長者との対戦ばかりにもかかわらず、十八位と健闘した。

フェンシングで海外大会出場  
久保田 茉沙樹さん(10) 小相木町

「背の高い選手ばかりで、みんな思ったより強かったです。でも、スピードでは負けませんでした。下からもぐって、攻めたことが良かったと思います」  
大会へは両親と離れて選手団だけで遠征した。一週間もの長い間、家族と別れて外国で生活したことも初めてだった。  
「帰国する日まで家へ電話してはいけないう決まりでした。ちょっと寂しかったです。食事もご飯がパサパサでおいしくなかったな。あまり食べられませんでした」  
フェンシングを始めたのは小三の春。本で偶然、写真を見た

ことがきっかけだった。  
「剣を持つ姿がかっこいいから、やってみたいとお母さんに話したら、市民体育館の教室に申し込んでくれました。今は高崎市の教室も通い、育英高フェンシング部の練習にもまぎれてもらっています。お兄さんたちが教えてくれて楽しいんだよ」  
現在、東小五年生。好きな科目は体育で、休み時間は、ドッジボールやサッカーなど、ボール運動をして友達と遊ぶ。  
「夢はオリンピック選手。中学、高校でもフェンシングを続けもっと強くなりたい」と、話す姿は元気でたくましい。



## 備え大切を実感 中越地震の調査

天川大島町二丁目・佐々木努

わたしは前橋工科大の修士課程で建設工学を学んでいます。新潟中越地震の調査で、発生三日後に被災地へ行ってきました。初日は十日町市。水は通っているものの、道路には地割れがありました。翌日の長岡市や小

千谷市周辺の被害はさらに甚大車が通れないような大きな地割れ、家屋の全壊などに地震の大きさを目の当たりにしたのです。日ごろから地震発生に備えて各家庭で対策を十分しておく必要を、今回調査に行つて改めて感じました。多くの被災者は、地震が起こるとは思っていない、無警戒な状況でした。地震によつて一時的に遮断された水や電気なども、三日ほどでほぼ復旧し、また、助けも来ます。三日間程度の水や食料を確保するだけでも、大いに役立つのです。被害を最小限に抑えるため、一人ひとりが日ごろの備えを心掛けます。

## まちのニュース



総社地区

## 名君たたえ 武者行列など



十一月十三日・十四日、総社地区で秋元歴史まつりが開催されました。江戸時代、この地域を治め、天狗岩用水を建設するなど領民から慕われた秋元長朝公をたたえる催しです。  
よろいかぶとに身を包んだ武将たちが、光厳寺で勇ましく出陣式を行った後、元景寺までを武者行列。まるで四百年前にタイムスリップしたかのような光景に見学者からは盛んに歓声が上がっていました。また、行列には小学生の鼓笛演奏が参加。総社資料館では秋元家に関する文化財の特別展示も行われ、地元名君の業績をしのぶ多くの来館者でにぎわいました。